

天神祭ごみゼロ大作戦2023 実施報告書



天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

目次

PAGE

1. はじめに
2. 実施概要
3. ボランティア・リーダー研修
4. 事前イベント
5. 活動エリア(MAP)
6. ボランティアスタッフ
7. 廃棄物実績
8. リユース食器実績
9. 2023年活動の特色
10. 制作物
11. メディア
12. 振り返り会
- 13・

はじめに

コロナ禍を乗り越えて、大阪の天神祭も、4年ぶりに、にぎやかにしめやかに開催されました。そしてまた、天神祭ごみゼロ大作戦も、4年ぶりに必要とされる日を迎えました。

2016年に事前調査を実施し、2017年に実行委員会を立ち上げて、南天満公園から川崎橋たもとまでの地域で始まった天神祭ごみゼロ大作戦です。2018年には活動エリアを大川沿いの全域に広げました。2019年も継続して大川沿いの全域を対象として活動を実施しました。

ところが、2020年、新型コロナウイルスの流行に伴い、天神祭が神事のみとなり、天神祭ごみゼロ大作戦は中止せざるをえませんでした。2021年、先が読めないなか、私達は「天神祭ごみゼロ大作戦presents クリーンリバー大作戦」として、天神祭が行われるはずだった日に川の水面と川の岸辺の清掃イベントとマイボトルへの給水イベントを実施しました。2022年こそはと思ったものの、まだ新型コロナウイルスの影響は拭えず、ブルーオーシャンを目指す「クリーンリバー大作戦」を実施しました。

そして、今年2023年、3回の夏を超えて、4回目の「天神祭ごみゼロ大作戦」を4年ぶりに実施することができました。4年ぶりなので、さまざまな関係先ともう一度つながり直し、新たなボランティア・リーダーの養成も必要でした。活動対象地域を、南天満公園から川崎橋のたもとまでの範囲に戻して、小さく、しかし確実に実施しました。

いままで待っていてくださったボランティアのみなさん、そして、変わらずご協賛いただいたみなさん、エコステーションにごみや資源を持ってきてくださったみなさん、無事に再会できて本当に嬉しかったです。

ごみを出さない祭りが実現する日を目指して、また、元気な声を出しつつづけます。ここに、今年のごみゼロ大作戦の結果をご報告いたします。これからもどうぞよろしくおねがいいたします。

天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会 実行委員長
(なにわエコ会議会長 大阪産業大学准教授)

花嶋 温子



実施概要

目的	天神祭宵宮・本宮期間における廃棄物の3R・適正処理を促進するためのごみゼロ活動
実施日	2023年7月24日(月)～25日(火)
会場	南天満公園の天神橋から川崎橋の区間
来場者数	24日21万2,000人 25日110万9,000人（主催者発表）
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物・資源分別回収のためのエコステーション運営 2. 天神祭飲食出店者へのリユース食器貸し出し 3. 散乱ごみの清掃活動 4. 給水スポットの設置
ボランティア参加者	約750名
主催	天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会
実行委員構成団体	大阪市/公益社団法人大阪府産業資源循環協会/一般社団法人一般廃棄物適正処理協会/大阪神農商業協同組合北支部/大阪ボランティア・市民活動センター/社会福祉法人大阪ボランティア協会/なにわエコ会議/大阪府地球温暖化防止活動推進センター/NPO法人大阪府民環境会議/NPO法人ごみゼロネット大阪/大阪ごみ減量推進会議/大阪びんリユース推進協議会/Rびんプロジェクト/Worldseed/NPO法人地域環境デザイン研究所ecotone
特別協賛企業	大阪市高速電気軌道株式会社、株式会社タクマ
協賛企業	こくみん共済coop(全労済)、サナダ精工株式会社、朝日税理士法人、一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会、一般社団法人大阪労働者福祉協議会、公益社団法人大阪府産業資源循環協会、一般財団法人環境事業協会、近畿労働金庫、合同衛生株式会社、早来工営株式会社、株式会社GCC Japan
協力	大阪神農商業協同組合北支部、株式会社ジオメイク、株式会社大恵、大阪硝子壺問屋協同組合・有限会社蔦井商店、グルメシティ南森町店、吹田市自然体験交流センター、一般財団法人大阪労働協会、自治労大阪府本部、一般社団法人平和と自由と繁栄の会館、公益社団法人大阪自然環境保全協会、山上紙業株式会社、大阪市環境局/扇町公園事務所
助成	公益財団法人ブルーオーシャンファンデーション(BDF)環境活動助成

Supported by



TAKUMA

約**35**名のボランティアリーダーの育成

6/14(水) ボランティアリーダー説明会



6/22(木) ボランティアリーダー研修①

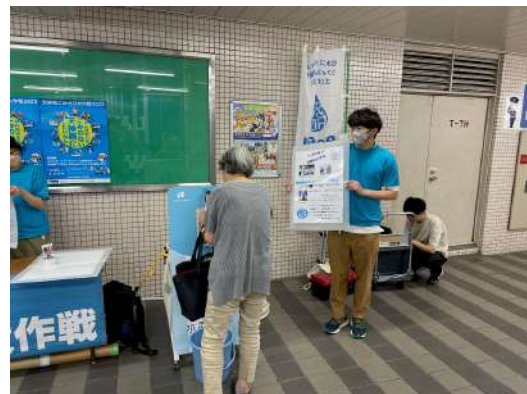


7/9(日) ボランティアリーダー研修② + 現地視察



天満橋駅構内で事前告知

7月21日(金) 地下鉄天満橋駅構内にて仮設の給水機を設置して、給水イベントを行ない、「マイボトルを持参して天神祭へ行こう！」と呼びかけました。



活動エリア

2018年 2019年には大川沿いでも活動していましたが、3年の空白があったため、今年は2017同様、南天満公園に活動エリアを絞り、10カ所のエコステーションを設置・運営しました。



合計約**750**人のボランティアスタッフが活動に参加

今年は準備や募集期間が短くなったにもかかわらず、のべ**750人**のボランティアスタッフがエコステーションにてごみと資源物の分別回収と、使用済みリユース食器の回収作業を行ないました。



約**900**kgの排出物を資源化などにより減量

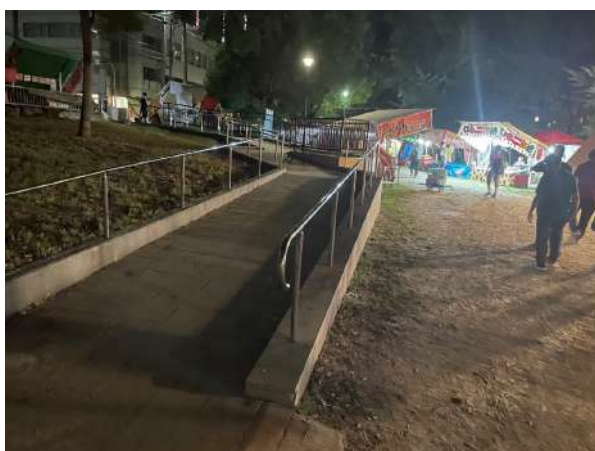
		2017	2018	2019	2023
リサイクル(資源化)	びん	430	474	160	170
	かん	150	850	530	390
	ペットボトル	230	680	370	310
	ペットボトルの蓋	23	60	30	26
	ダンボール		330	80	0
	小計	833	2394	1170	896
リユース(再利用)	うちわ	20	28	6	18
総量		853	2422	1176	914 (kg)

* 2018年 2019年の実績は、大川全域エリアでの活動であったため、総量が多くなっています。

* 2020年～2022年は新型コロナの影響でごみゼロ大作戦を実施しませんでした。

* 今年は大阪市が所有している「イベント用ごみ分別ボックス」のみをレンタルして使用したため、ダンボールごみがなくなりました。

* うちわは吹田市自然体験交流センター他にてキャンプ用として再利用されます。



リユース食器 **16,000** 食分を提供し、使い捨てごみを削減

使い捨てのカップや皿の発生を削減するためにエリア内の屋台の露店にリユース食器を配布しました。

	2017	2018	2019	2023	単位
採用数	16,080	17,000	19,620	16,680	食
紛失数	3,842	1,215	1,478	1,042	食
回収率	76.1	92.9	92.5	93.8	%



2023年度活動の特色

株式会社OSGコーポレーション様の協力により、天満にある本社敷地内に仮設の給水スポットを設置し、7月25日(火) 13:00-17:00の間、給水活動を行いました。



4年ぶりの開催だったためか、数多くのメディアの方々に当日現場での取材をしていただき、TVや新聞で取り上げていただきました。



ごみ箱は大阪市様よりイベント用分別ボックスをお借りしました。



グルメシティ南森町店様に幸せの黄色いレシートキャンペーンを実施いただきました。



<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000568020.html>

制作物



▲ボランティアリーダーTシャツ



▲ボランティアスタッフTシャツ



▲分別サイン



▲テント横バナー
[1760x1800mm]



▲のぼり
[580x1785mm]



▲ポスター

新聞1社(カラー写真付き)、テレビ2社の取材



▲毎日新聞 大阪版 2023年7月25日



▲MBSテレビ よんちゃんTV
<https://youtu.be/0kdjAzl3pPo?si=1Mt2E-LG2uYV75GT>



▲テレビ大阪
 9月8日26時05分～26時30分
 「フィッシングDAYS」内
<https://youtu.be/a6MW9eZSwME>



振り返り会

9月19日(火) 18:00 - 19:00 当日のボランティアリーダーが集まり、振り返りの会を実施しました。KPT法にてKeep=「良かったこと」、Problem=「悪かったこと、直したいこと」、Try「どうやって解決・改善するのか」を来年に向けて話し合いました。



MEMO



天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-4-20
(NPO法人 大阪府民環境会議内)

TEL: 06-6195-9868

E-mail: info@tenjin-gomizero.jp